



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.5.27 No.14



○ 避難訓練 (全校)

5月25日(火)、避難訓練を行いました。給食センターからの出火を想定して、校庭に避難しました。放送を聞いてから避難し、各担任が人数確認をして教頭に報告、教頭から校長に報告し終わるまでにかかった時間は、5分22秒でした。

「お(押さない)か(駆けない)し(しゃべらない)も(戻らない)」をしっかりと意識し、真剣に行うことができました。※「おかしも」⇒「おは(走らない)しも」という場合もあります。

○ 自転車交通教室 (3・4年生)

5月26日(水)、自転車交通教室を行いました。開始式では、南越前町交通指導員の方から、安全な自転車の乗り方や交通ルールについての指導を受けました。その後、3年生は学校の周りを、4年生は路上のコースを実際に自転車で走りました。どの子も緊張しながらも真剣に、そして慎重に自転車を運転していました。

今回学んだことを必ず守り、安全運転を心がけてほしいと思います。



自転車での事故に気を付けましょう。

【横断歩道を渡る場合】

- ・自転車は、降りて引く
- ・「止まる」、「右左をよく見る」、「車が止まっている(車がいない)ことを確認する
- ・横断中も「右左をよく見る」



飛び出し注意

【横断歩道のない交差点を渡る場合】

- ・「スロースピードで渡る」(十字路、T字路、駐車場等の車が出入りする所)
- ・必ず安全確認をする

【その他】

- ・事故が起こった場合、速やかに学校に報告する ※警察にも連絡してください
- ・明るくても、ライトをつける(自分の存在を他者に知らせる) ※自動点灯の場合は除きます。
- ・常に周囲の安全に気を配る
- ・自転車乗車時には、必ずヘルメットをかぶる
- ・スピードを出し過ぎない

自分が事故にあうことはもちろん、事故を起こしてもいけません。ぶつかった相手がケガをしたり、亡くなったりしたら、大変なことになります。本当に気を付けましょう。過去には、次のように、裁判で多額の賠償金の支払いを命じられた例があります。

<自転車事故による高額賠償事例>

[2013年 9520万円]

坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が、歩行中の62歳の女性と衝突し、歩行者の女性が意識不明となった。

[2008年 9266万円]

自転車運転中の男子高校生が車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた24歳の社員の男性と衝突し、社員は言語機能の喪失等重大な障害が残った。

決して、事故を起こそうと思って起こしたわけではありませんが、本人のちょっとした不注意などが原因で、このような高額な賠償金が発生する自転車事故になってしまいました。もちろん、事故を起こした小学生や高校生が、これだけのお金を支払えるはずありませんから、事故を起こすと、本人だけでなく、家族みんなの人生も狂わせてしまうことになります。(なお、自動車による交通事故の場合、5億2853万円という高額賠償のケースもあったそうです。)

もしもの時のための保険の加入についても、考えておいた方が良いでしょう。

○ 全国学力・学習状況調査実施 (6年生)

5月27日(木)、6年生が全国学力・学習状況調査を行いました。この調査は、毎年、小学6年生と中学3年生を対象に行われているもので、「教科に関する調査」および「生活習慣や学校環境に関する質問紙調査」があります。(昨年は新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため実施されませんでした。また、今年は、例年よりも1ヶ月遅く行われました。)

「教科に関する調査」は国語と算数・数学(中学3年生)の2教科で行われており、「児童生徒質問紙」は、学校や家での勉強や生活の様子についての質問に答えるものです。

